

医療コンテナ等の利活用に関するフォローアップ調査  
とりまとめ結果令和4年3月  
内閣官房国土強靱化推進室

## 医療コンテナ等の利活用に関するフォローアップ調査

国土強靱化  
NATIONAL RESILIENCE

## 1. 「医療コンテナ等の利活用に関するフォローアップ調査」について

今般の新型コロナウイルスの状況を踏まえ、医療コンテナ等の利活用状況についてアンケート調査を実施。

## &lt;調査対象&gt;

全都道府県・政令市67自治体

## &lt;調査期間&gt;

令和3年7月～10月

## &lt;回答数&gt;

59自治体

## &lt;主なアンケート項目&gt;

- 医療コンテナ等の導入状況・導入にあたっての課題
- 災害時及び平時での活用方法の検討状況
- 活用方法(新型コロナ対策、災害時医療など)、場所(自治体保有施設、医療機関など)、活用の上での課題
- テント型・車両型導入自治体がコンテナ型を導入しなかった理由
- 導入していない自治体への導入への課題・検討の可能性
- 管内民間医療機関等での導入状況

※令和元年度の内閣官房「国土強靱化に資する災害医療資機材に関する調査業務」において、同趣旨のアンケート調査を実施

コンテナ型  
例) ㈱Sansei  
MC-Cubeテント型  
例) 太陽工業㈱  
マク・クイックシェルター車両型  
例) 北村製作所  
被ばく量検査測定車

## 2. アンケート結果概要

(1) 医療コンテナ等の導入状況 ○コンテナ型: 2自治体 ○テント型: 9自治体 ○車両型: 5自治体

### (2) コンテナ型利活用事例

#### ① 山梨県

##### →株式会社Sansei 「MC-Cube」

- ・県が医療コンテナを2台購入し、20ftのコンテナへはレントゲンを装備して県立中央病院へ、40ftのコンテナへはCTを装備して山梨大学医学部附属病院へ無償貸与し、各病院の敷地内に設置している。
- ・現状、新型コロナウイルス感染症への対策として、主に発熱外来において疑い患者への診療に活用している。
- ・また、災害時（急性期・亜急性期）における移動診療車としても期待しており、レントゲン、CTの2種類を県が有しているという強みを生かし、様々な場面で活用していく予定。

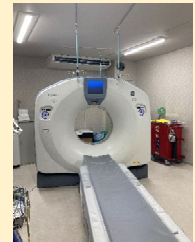


#### ② 神戸市

##### →GEヘルスケア・ジャパン株式会社

##### 「CT in Box」

- ・市立医療センター中央市民病院が購入し、敷地内に設置・利用。
- ・新型コロナウイルス感染症臨時病棟用のCTを設置し、新型コロナウイルス感染症肺炎に関する検査に活用。
- ・実際の活用により、新型コロナ患者が本館に入ることなく診断と治療に必須であるCT検査を受けることができるという点で有効である。
- ・一般患者と別の場所及び機器での検査であるため、院内感染の防止にも貢献している。



### (3) テント型・車両型導入自治体がコンテナ型を導入しなかった理由

- 使用時の設置・移動の迅速性、不使用時の撤去・収納の簡素さからテント型を導入
- 建物の都合上、重さによるゆがみが生じる可能性があった
- 院内の収納スペースが限られているため、折りたたみ可能なテント型を選択

### (4) 導入していない自治体から挙げられた導入にあたっての課題

- 助成も含めた導入・維持管理にかかる費用の負担軽減（23自治体）
- 保管場所の確保・設定
- 好事例の紹介などの平時を含めた活用方法（12自治体）
- 人材の確保

### (5) 管内民間医療機関等での利活用状況

○コンテナ型: 5自治体

○テント型: 3自治体

○車両型: 2自治体

コンテナ型(例): 北九州市

#### <概要>

・戸畑共立病院において、新型コロナウイルス感染症対応として、発熱患者への診療をするため、ヴィガラクス社製のコンテナクリニック台を敷地内に配置。

#### <メリットと課題>

・実際の活用により、新型コロナの疑いがある患者と動線が分けられる点で有効である一方、新たな診察箇所を設けることになるので、人員配置に苦慮したとのこと。



テント型(例): 佐賀県

#### <概要>

・県内の医療センターにおいて、新型コロナウイルス感染症対策として、トリアージや発熱患者対応等を実施するため、災害医療用テントを玄関や救急入口に4基配置。

#### <メリットと課題>

・比較的簡単に設置できたが、災害時の活用を想定していたものであり、ほぼ使用機会が無く、経年劣化が起きているものもあった。



車両型(例): 茨城県

#### <概要>

・産業技術総合研究所と筑波メディカルセンター病院は、エックス線装置を持ったオンライン診療できる移動診療車を整備し、軽症者ホテルで新型コロナ初期診断の実証実験を実施。コロナ収束後は、災害医療支援やへき地医療への活用を考えている。

#### <メリットと課題>

・機動性が高く、感染防護され、外気の影響を受けにくい。現車は車いす患者対応や更なる小型化が必要と判明。



## 3. 今後の対応について

- ・来年度についても、本アンケートと同様に導入状況に関する調査を実施する予定。引き続き、ご協力をお願いします。

## 医療コンテナ等の利活用への課題に関する意見

### 【助成も含めた導入・維持管理にかかる費用の負担軽減】

- 導入にあたっての費用が全額国庫補助金で措置され、かつ更新についても国庫補助金で措置されるなど、自治体側の負担がなければ導入について検討する可能性がある。
- 災害が発生し、診療機能が停止した病院に代わり診療機能を担うことができ、コスト面でも過度な負担とならなければ導入メリットがあると考えられる。
- 導入した場合、現在であればPCR検査室や発熱外来としての活用が主となると思われる。導入コストが非常に低額で、耐久性が高く、かつレイアウトの自由度が大きければ、暫定的な措置として導入を検討する余地はある。一方、整備する医療機関によっては、基本的に自院の被災時のみの利用となるため、医療コンテナそのものが備蓄物品として長期保管可能であり、かつ低コストもしくはゼロコストであるならば導入を検討する。
- 活用方法や、運用スキームがはっきりしていないため、導入事例・活用状況が明らかになること、導入に係る補助や導入後のコンテナの維持に関する補助等の制度が設立されれば、導入を検討する可能性はあると考えられる。
- 平時の利活用が可能であること、イニシャルコスト（資機材の導入等）のみならず、ランニングコスト（設備等更新を含む）に対する財政措置。
- 医療法上の取り扱いの整理、導入費や平時の維持管理費に対する支援、医療コンテナでなければ行えない活用方法などのメリット。
- 負担の軽減（国庫補助）、平時の活用方法（他用途での使用を可とする、等）。

- 設置費用や維持・管理費用の負担がないこと、大規模災害時だけでなく平時でも活用が可能であること。
- 被害想定では、医療従事者が絶対的に不足するため、医療コンテナを運用する人材が確保されること。また、導入コストが大きいため、財政的な負担が無いこと。
- 導入、運用コストの課題が解消されれば検討する可能性がある。
- 医療コンテナ等の維持に係るメンテナンスや、保管場所の設定に苦慮することが想定される。したがって、当該費用に係る支援やノウハウの提供等があれば、導入を検討する可能性があると思われる。
- 維持管理が簡易であり、イニシャルコストだけでなくランニングコストに係る国からの支援があれば検討のテーブルには乗ると思われるが、大規模災害時に被災地域への搬送手段確保が困難になるであろうことを考えると、導入の優先順位は低くなると考える。
- 財政及び人員等の手厚い支援等。
- 医療コンテナの導入に係る財政支援（無償提供や補助金交付）。
- 維持費がかかるなどのデメリットを上回るメリットの事例などが示されれば、検討の余地があるのではないか。
- 平時での利用は見込めないことから、災害時の期間に必要であれば無償貸与されること。

#### **【好事例の紹介などの平時を含めた活用方法】**

- 周囲に医療施設がない地域における医療救護活動や、広域医療搬送の設営拠点として有用な事例があり、医療用コンテナのメリットと体制や考え方に合えば検討の可能性が出てくると思われる。

- 導入検討のメリットについては、現時点では未整理である。関係者の意見や他自治体の導入事例も参考にしながら、有効となる状況を想定していく必要があるとは考える。
- 平時からの有効な活用場面があればよいと考える。
- 導入自治体における災害時及び平時それぞれの有効活用事例が示されれば、本市の状況と照らし合わせて検討しやすい。
- 導入及び維持管理に関する費用面の課題に加え、導入後の運用にあたって、スタッフの確保、地震や大雨等の自然災害発生時における大型車両の活用方法、平時における運用方法の課題解決が必要と考えられる。

#### 【保管場所の確保・設定、人材の確保 等】

- コンテナによる保管にあたっては、温度や湿度の管理が必要となるため、屋内に保管する必要があると考えるが、医療機関や公的施設において設置場所を選定するのが困難である。については、屋根付きの倉庫など併せて整備のうえ格納が可能であれば導入を検討する。
- 平時・災害時ともに医療用コンテナの活用は想定されておらず、維持管理や使用する人材確保の面からみても導入の可能性は低いと考えます。
- 平時における保管場所や管理の方法、運用時の要員（医療スタッフ及び運転手）、運用場所の確保等の課題があるため、課題が解決された上で、既存資源（病院所有の既存資源や協定等）より費用対効果が見込まれる場合に導入が検討されると考える。
- メリットや活用場面だけでなく、デメリットや費用、人材確保の面など総合的に検討する必要がある。
- 導入することの必要性を検討することに加え、購入費用や設置場所が確保されること等が必要と考える。

**【その他】**

- 災害医療体制における費用対効果（人口あたりの必要コンテナ数が不透明）。
- 現時点で導入の検討に至っていないが、今後、不足が見込まれる際や、体制を強化する際には、費用対効果や利便性を考慮し、必要に応じて導入を検討する可能性はある。

※とりまとめにあたっては、各項目該当するものを重複してカウントしている。

① コンテナ型：コンテナクリニック（モバイルクリニック）

会社	活用方法	スペック	装備	費用	購入
ピースノート社 FOREMOST社 ヴィガラクス社	<ul style="list-style-type: none"> <li>発熱外来</li> <li>災害時の活用も見込む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6m×2.4m×高さ2.9m</li> <li>建築基準法クリア</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>空気浄化設備</li> <li>陰圧可能</li> <li>トイレ設置可</li> </ul>	570万円～	○

○ピースノート社（建設業等）とFOREMOST社（コンテナ製作会社）が共同開発。

＜R2.4.16下野新聞、神戸新聞＞

○モバイルクリニックはヴィガラクス社からの販売名称。

○PCR検査施設として活用されている（場所は非公開）。＜R2.5.16ピースノート社HP＞

○R2.7.6より宇都宮市夜間休日救急診療所で活用開始。＜R2.7.7下野新聞＞

○R2.8.25に兵庫県立尼崎総合医療センターで活用開始。＜R2.8.26神戸新聞＞

○横浜市松田クリニックに発熱者・感染症患者専用診察室として設置。

＜R2.9.16ピースノート社HP＞

○ヴィガラクス社より、レンタルサービスを開始。＜R3.3.24産経新聞＞

○R3.12時点で全国45施設53棟、導入されている。＜モバイルクリニックHP＞

② コンテナ型：MC-Cube

会社	活用方法	スペック	装備	費用	購入
(株) Sansei	<ul style="list-style-type: none"> <li>検査及び診察</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6m×2.5m×2.5m</li> <li>複数コンテナの接続可</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(CT/MRI)</li> <li>放射線防護室</li> <li>オペレーションルーム</li> <li>エアコン</li> <li>更衣室</li> <li>手洗器</li> <li>発電機</li> </ul>	3,000万円～ ／基	○

○CT搭載。また、発電機搭載で7日間連続稼働が可能。＜SanseiHP＞

○千葉県東金市の東千葉メディカルセンターへ1台設置。期間は約半年を予定。

＜R2.4.29日刊工業新聞＞

○キャノンメディカルシステムズのCTを搭載。＜R2.11.30日刊工業新聞＞

○岐阜県朝日大病院で導入。R3.4より稼働。＜R3.3.13岐阜新聞＞

○宇都宮COVID-19ドライブスルー検査センターに導入。＜R3.10.5 SanseiHP＞



# 新型コロナウイルス対策のための医療コンテナ等の活用事例

内閣官房 国土強靱化  
推進室調べ

## ③ コンテナ型：CT in Box

会社	活用方法	スペック	装備	費用	購入
GEヘルスケア・ジャパン	・簡易CT室	・5m×2.5m×2.5mのコンテナを2台連結	・CT	不明	—

○今般の新型コロナ対策のために開発された。

＜GEヘルスケア・ジャパンHP＞

○国立病院機構 高崎総合医療センターに1台レンタル。設置費用は高崎市が全額負担。

＜R2.5.30上毛新聞＞

○消毒が容易となるよう、シンプルな内装設計となっている。

○埼玉県ふじみの救急クリニックに1基導入。＜R2.9.14 GEヘルスケア・ジャパンプレスリリース＞

## ④ コンテナ型：どこでもクリニック

会社	活用方法	スペック	装備	費用	購入
セーバー技研	・発熱外来 ・ドライブスルー検査所 ・ICU対応病室 など	・10,20,30ft ・組合せ可能	・廃棄システム(陰圧も可) ・HEPAフィルター ・冷暖房設備	550万円～	○

○(株)三松物流サービス(熊本県)と販売代理店契約を結び販売・設置。

＜R2.10.30港北経済新聞＞

○発熱外来用、ICU対応病室用など7タイプ。＜R2.10.30港北経済新聞＞

3

# 新型コロナウイルス対策のための医療コンテナ等の活用事例

内閣官房 国土強靱化  
推進室調べ

## ⑤ コンテナ型：オフィスキューブ12（メディカルキューブ12）

会社	活用方法	スペック	装備	費用	購入
トラックハウスディベロップメント社	・発熱外来 ・屋外待機所	・4.8m×2.4m×高さ3.5m ・建築確認不要	・エアコン	15台無償提供 それ以外は15万円/月	○

○本会社はトレーラーハウスの販売・レンタル等を行っている。

＜トラックハウスディベロップメントHP＞

○東京都・宮城県・愛知県に貸出。発熱外来として利用。＜R2. 4. 20朝日新聞＞

○購入は月額6万円60回払い、合計360万円。＜R2. 5. 12朝日新聞＞

## ⑥ コンテナ型：オフグリッド型簡易陰圧PCR検査室

会社	活用方法	スペック	装備	費用	購入
EMC core	・PCR検査室 ・発熱外来	・6.5m×2.5m×高さ2.4m ・建築基準法クリア	・簡易陰圧装置 ・蓄電池システム ・エアコン ・水栓トイレ 等	2,000万円～	○

○蓄電池システム、簡易陰圧設備も標準搭載。＜R2. 10. 28 EMCcoreHP＞

○R3. 6. 19に岡山県総社市内のクリニックへ導入。＜R3. 6. 21 EMCcoreHP＞

○R3. 9. 11に茨城県神栖市内のクリニックへ導入。＜R3. 9. 13茨城新聞＞



## 新型コロナウイルス対策のための医療コンテナ等の活用事例

### ⑦ コンテナ型：レスキューホテル

会社	活用方法	スペック	装備	費用	購入
develop社	<ul style="list-style-type: none"> <li>仮設宿泊所</li> <li>病室</li> <li>待機所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>約13㎡</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベット</li> <li>ユニットバス</li> <li>エアコン</li> <li>冷蔵庫</li> </ul>	不明 (運搬コストは片道 10万円/台～)	—

○平時はホテルの客室として運営。<develop社HP>

○長崎県のクルーズ船対策のため、長崎県へ50室移送<R2. 5. 13日経新聞, 千葉日報>

○千葉県等6都県にある27市町と災害時の宿泊施設として提供する協定を締結。

○東京都三鷹市へPCR検査設備として導入。<R2. 6. 10 develop社プレスリリース>

○東京都千代田区へPCR検査設備として導入。<R2. 6. 24下野新聞>

### ⑧ コンテナ型：災害備蓄用コンテナホテル

団体	活用方法	スペック	装備
茨城県境町	<ul style="list-style-type: none"> <li>仮設診療所</li> <li>医師休憩所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6m×2.3m×高さ 2.4m</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユニットバス</li> <li>トイレ</li> <li>キッチン</li> <li>ベット</li> <li>冷蔵庫</li> </ul>

○元来、境町が災害用として所有。

○日本医師会総合政策研究機構や茨城県へ8台貸出。<R2.4.11茨城新聞>

○東京都三鷹市にも貸出。<R2.6.8毎日新聞>

5

## 新型コロナウイルス対策のための医療コンテナ等の活用事例

### ⑨ テント型：イージードームハウス

会社	活用方法	スペック	装備	費用	購入
TCL社 (ホワイトハウス社の 子会社)	<ul style="list-style-type: none"> <li>病院から隔離した 検査・診療ス ペース</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>直径3.3m、高さ2.6m</li> <li>建築確認申請不要</li> </ul>	—	78万円～	○

○元々キャンプ場施設等の屋外施設として開発。災害時の避難所等の活用も想定。  
<TCL社HP>

○成人男性2名作業により、90分程度の時間で組立が可能。

○東京都の病院や山梨県の診療所が導入。<R2. 4. 14朝日新聞>

○岐阜県下呂市にも導入。<R2. 6. 6東海テレビ>

### ⑩ テント型：コネクトドーム1.0

会社	活用方法	スペック	装備	費用	購入
野原HD	<ul style="list-style-type: none"> <li>発熱外来</li> <li>ドライブスルー検査所</li> <li>医療従事者控室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>直径8or12m、高さ 不明</li> <li>ゲル型</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>換気システム(陰 圧も可能)</li> </ul>	400万円 ～	○

○コロナ感染拡大の第2波への医療体制整備の支援のために開発された。

<R2.5.27野原HDプレスリリース>

○院外での感染患者の収容及び換気・看護動線を考慮したゾーニングによるスペース確保を目的。<R2.6.4日刊工業新聞>

○豪雨・強風に強い特殊構造で、防災対策としての活用も可能。